



かるかる

 2014年 **2** 月 vol.221


生まれてからずっと住んでいる人、出て行った人、帰ってきた人、やってきた人…。
それぞれが感じる〈此の地〉との距離感。あるいは心の中にある〈彼の地〉への想い。
シリーズ初、女性の感性で描く北九州の町の匂いの群像劇。

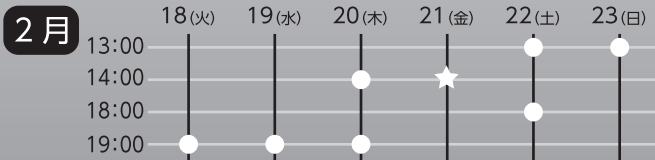
撮影：重松美佐

北九州芸術劇場プロデュース

2013/2014 あうるすぽっとタイアップ公演シリーズ

彼の地

k a n o c h i



★21金はアフタートークあり ※開場は開演の30分前

【料 金】(日時指定・全席自由・税込) **チケット好評発売中**一般 **¥3000**、学生 **¥2500**

*当日 500 円増 *学生(小〜大学生)は、要学生証提示 *未就学児入場不可

●作・演出 桑原裕子(KAKUTA)

●出演

岩本将治、大神拓哉(企画演劇集団ボクラ団義)、尾崎宇内、佐藤恵美香、
椎木樹人(万能グローブ ガラパゴスダイナモス)、上瀧征宏、高野由紀子(演劇関係いすど校舎)、
高山力造(village80%)、多田香織(万能グローブ ガラパゴスダイナモス)、寺田剛史(飛ぶ劇場)、
服部容子、平嶋恵璃香、美和哲三(14+)、吉田砂織(川笑一座)、リン(超人気族)、脇内圭介(飛ぶ劇場)
若狭勝也(KAKUTA)、佐賀野雅和(KAKUTA)、異儀田夏葉(KAKUTA)

●チケット取扱

北九州芸術劇場オンラインチケット(3:00〜4:00除く)・プレイガイド(10:00〜19:00)
チケットぴあ、ローソンチケットほか

●お問い合わせ

北九州芸術劇場 TEL:093-562-2655

北九州芸術劇場 小劇場

北九州芸術劇場

●住所／小倉北区室町1-1-11 リバーウォーク北九州6F ●電話／093-562-2655 ●休館日／年末年始
●アクセス／JR:「西小倉駅」徒歩3分 バス:「室町・リバーウォーク」徒歩1分 ●開館時間／公演によって異なります

会 場	イ ベ ント	期 間	開 演	入 場 料	問 合 せ 先
大ホール	第37回北九州チャイルドアンサンブルフェスティバル	9(日)	10:45	無 料	北九州チャイルドアンサンブル 093-962-1853
			14:00		
	建国記念の日奉祝北九州市民大会	11(火・祝)	12:15	無 料 ※入場整理券あり	建国記念の日奉祝北九州市民大会実行委員会 090-2082-3067
	生け花・書道 彩なす日本舞踊	16(日)	11:00	¥2,500	吉村流雄輝彌会 090-6899-7075
中劇場	北九州子ども劇場2月高学年部例会 東京芸術座「夏の庭」	8(土)	16:00	会 費 ※子ども劇場会員でない方は お問合せください。	北九州子ども劇場 093-884-3834
			19:00		
	「福田寛季卒業コンサート～感謝の思いを込めて～」	11(火・祝)	18:00	H S席 ¥3,000 S席 ¥2,000 ※全席指定 ※当日券取扱なし	福田寛季コンサート事務局 080-4283-3175
	山海塾「かがみの隠喩の彼方へ - かげみ」 世界40カ国以上で活躍する舞踏カンパニーによる透徹した美のステージ。	16(日)	14:00	一般 ¥4,500 ユース ¥2,500 ※24歳以下・要身分証提示 (当日各¥500増)	北九州芸術劇場 093-562-2655
	京築神楽 北九州公演	23(日)	15:00	無 料	神楽の里づくり推進協議会事務局 (福岡県広域地域振興課内) 092-643-3178
小劇場	南河内万歳一座「満月～みんなの歌シリーズより～」 個性溢れるパワフルな役者陣に、浪曲師・春野恵子がゲスト出演。	1(土)	14:00	一般 ¥3,000 学生・シニア(65歳以上) ¥2,800 ※要身分証提示 青春18歳差切符 ¥5,500 ※年齢差18歳以上のペア割引 劇団のみ取扱 (当日各¥500増)	北九州芸術劇場 093-562-2655
			18:00		
	北九州芸術劇場プロデュース「彼の地」 シリーズ初、女性の感性で描く町の匂いの群像劇	2(日)	14:00	一般 ¥3,000 学生 ¥2,500 ※小～大学生・要学生証提示 (当日各¥500増)	北九州芸術劇場 093-562-2655
			14:00		
		18(火)	19:00		
		19(水)	19:00		
		20(木)	14:00		
		21(金)	19:00		
	CCAサウンド・ワークショップLIVE スティーブ・オマリー、オーレン・アンバーチ、ジム・オルークを迎え、実験音楽のライブパフォーマンスを行う。	22(土)	14:00		
		23(日)	13:00		
		27(木)	19:00	¥2,000 ※要事前申込	現代美術センターCCA北九州 093-663-1615

■北九州芸術劇場改修工事のお知らせ
北九州芸術劇場は平成26年度中に大規模な改修工事を予定しております。(予定工事期間:平成26年12月1日から平成27年1月31日) (北九州芸術劇場 施設利用係 TEL 093-562-8436)

北九州芸術劇場

市民ギャラリー

●住所／小倉北区室町1-1-11 リバーウォーク北九州5F ●電話／093-562-2520
●開館時間／10:00～19:00※催し初日は準備が終わり次第開場、最終日は17:00まで
●アクセス／JR:「小倉駅」徒歩10分、「西小倉駅」徒歩3分 ●休館日／年末年始

イ ベ ント	期 間(時間は上記)	入 場 料	問 合 せ 先
北九州市職員文化祭	5(水)～11(火・祝)	無 料	北九州市職員文化体育協議会 093-582-2221
平成25年度 周望学舎 修了記念作品展	12(水)～18(火)	無 料	北九州市保健福祉局高齢者支援課(周望学舎) 093-591-2626
カリグラフィー作品展	19(水)～25(火)	無 料	インクステイン
人物を描く会作品展	2/26(水)～3/4(火) ※10:00～18:00	無 料	人物を描く会 093-551-6351
彩友会作品展	2/26(水)～3/4(火) ※10:00～18:00	無 料	彩友会 093-963-5107

北九州市立響ホール

●住所／八幡東区平野1-1-1 ●電話／093-662-4010 ●駐車場／240台(有料) ●休館日／年末年始
●アクセス／JR:「八幡駅」徒歩15分 バス:「八幡駅入口第一」徒歩10分、「国際文化交流センター」徒歩2分

イ ベ ント	期 間	開 演	入 場 料	問 合 せ 先
響ホール20周年記念事業 響ホール ワンコイン・ロビーコンサート・シリーズ 第4回 響ホール室内合奏団「弦の調べ～バレンタイン～」 上野美科 倉田輝美 今村順子 加治誠子 モーツァルト:弦楽四重奏曲第17番変ロ長調 K.458『狩』ほか	5(水)	12:10 ※ホワイエにて開催	一般 ¥500 ※前売りは問合せ先へ ※立見の可能性あり	響ホール室内合奏団事務局 093-647-0565
PTC 小さな発表会 ピアノ教室の生徒のみなさん	9(日)	10:45	無 料	(株)ヤマハミュージック リテイリング小倉店 093-531-4331
第4回 ピティナ ピアノ コンペティション入賞者記念コンサート	16(日)	10:30 ※予定	一般 ¥1,000 学生 ¥500 ※学生(小・中・高校生) ※全席自由	(株)ヤマハミュージック リテイリング小倉店 093-531-4342(河嶋)

イベント	期 間	開 演	入 場 料	問合せ先
響ホール20thシリーズ 仲道郁代 with 響ホール室内合奏団 ～甘美なるフォルテピアノの響き～ メンデルスゾーン:シンフォニア第1番ハ長調 フォルテピアノの魅力、そしてモダンピアノとの弾き比べ	23(日)	15:00	指定席 ¥3,000 自由席一般 ¥2,500 自由席U-25 ¥1,000 自由席ペア(前売のみ) ¥4,000 (当日各¥500増) ※指定席完売	(公財)北九州市芸術文化振興財団 音楽事業課 093-663-6661

出光美術館(門司)

●住所／門司区東港町2-3 ●電話／093-332-0251 ●開館時間／10:00～17:00(入館は閉館30分前まで)
●アクセス／JR:「門司港駅」徒歩8分 車:「門司IC」約10分 ●休館日／月曜日(展示替期間、年末年始)

イベント	期 間(時間は上記)	入 場 料	問合せ先
合戦図屏風―源平合戦から武蔵の時代まで 壇ノ浦合戦を描いた屏風や、関門に縁の深い宮本武蔵の水墨画などを展示。	2/7(金)～3/30(日)	一般 ¥600 高校・大学生 ¥400 中学生以下無料(保護者同伴)	出光美術館(門司) 093-332-0251

関門海峡ミュージアム(海峡ドラマシップ)

●住所／門司区西海岸1-3-3 ●電話／093-331-6700 ●休館日／年 5 回
●アクセス／JR:「門司港駅」徒歩5分 ●開館時間／9:00～17:00

イベント	期 間	開 演	入 場 料	問合せ先
筑前琵琶「平家物語」演奏会	2(日)	11:00	無 料	関門海峡ミュージアム (海峡ドラマシップ) 093-331-6700
		13:00		

門司港レトロ展望室

●住所／門司区東港町1-32 ●電話／093-321-4151 ●休館日／なし
●アクセス／JR:「門司港駅」徒歩5分 ●開館時間／10:00～22:00(カフェは21:00まで)

イベント	期 間	開 演	入 場 料	問合せ先
天空ジャズ	1(土)	18:30	門司港レトロ展望室入館料金必要 大人 ¥300 小人 ¥150	B&A 門司港 093-321-4151

旧大連航路上屋

●住所／門司区西海岸1-3-5 ●電話／093-322-5020 ●開館時間／9:00～17:00
●アクセス／JR:「門司港駅」徒歩5分

イベント	期 間	開 演	入 場 料	問合せ先
マンスリージャズ	9(日)	14:00	無 料	旧大連航路上屋 093-322-5020
マンスリーシアター 「3匹の侍」(1964年松竹)	23(日)	14:00	無 料	
松永文庫企画展 「郷土コレクターシリーズPART1～故・平嶋雄三郎コレクション～」	1/11(土)～4/4(金)		無 料	

アルモニーサーク 北九州ソレイユホール

●住所／小倉北区大手町12-3 ●電話／093-592-5405 ●休館日／年末年始・毎月1回(不定休) ●開演時間／公演によって異なります
●アクセス／JR:「小倉駅」徒歩30分、「西小倉駅」徒歩15分 バス:「ソレイユホール・ムープ前」徒歩1分 ●駐車場／80 台(有料)

会 場	イベント	期 間	開 演	入 場 料	問合せ先
大ホール	劇団銀河鉄道のぬいぐるみミュージカル 「ジャックと豆の木」	1(土)	10:30	¥1,200 (当日¥300増) ※3歳以上有料	劇団銀河鉄道 03-5684-3320
			13:15		
	2014新春 北九州選抜歌謡祭	2(日)	10:30	無 料	北九州選抜歌謡祭実行委員会 093-671-7636
	第39回九州公演 日本フィル in kyusyu 2014	15(土)	14:00	RS席 ¥7,000 SS席 ¥6,500 S席 ¥5,500 A席 ¥4,500 学生 ¥3,500	日本フィル北九州公演実行委員会 090-4997-5500

北九州市漫画ミュージアム

●住所／小倉北区浅野2-14-5(あるあるCity5階6階) ●開館時間／11:00～19:00(入館は閉館30分前まで)
●電話／093-512-5077 ●アクセス／JR:「小倉駅」徒歩2分 ●休館日／火曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始、館内整理日、夏休み等は無休

イベント	期 間(時間は上記)	入 場 料	問合せ先
「震災復興と漫画」展 東日本大震災からの復興において漫画・漫画家が果たした役割とは	～2/2(日)	無 料 ※漫画ミュージアム常設展チケットまたは年間パスポートが必要	北九州市漫画ミュージアム 093-512-5077
パレエ・マンガ～永遠なる美しさ～ 少女漫画の一大ジャンルであるパレエ漫画の源流から現在まで	2/15(土)～4/6(日)	一般 ¥400 中高生 ¥200 小学生 ¥100 小学生未満無料	

北九州市立小倉城庭園

●住所／小倉北区城内1-2 ●休館日／なし ●アクセス／JR:「小倉駅」徒歩約10分、「西小倉駅」徒歩約7分
●開館時間／9:00～17:00(11月～3月は17:00まで 4～10月は18:00まで) 受付は閉館30分前まで ●電話／093-582-2747

会 場	イベント	期 間(時間は上記)	入 場 料	問合せ先
企画展示室	武家の調度 江戸時代の華麗な婚礼調度の数々を展示します。	～2/2(日)	小倉城庭園入館料 一般 ¥300 中高生 ¥150 小学生 ¥100	北九州市立小倉城庭園 093-582-2747
	平野遼の余技展 一画家の茶室― 北九州ゆかりの画家・平野遼が描いた屏風や掛軸など約80点展示。	2/8(土)～4/13(日)	小倉城庭園入館料 一般 ¥300 中高生 ¥150 小学生 ¥100	
	ギャラリートーク 企画展「平野遼の余技展」の展示解説です。	15(土)	小倉城庭園入館料 一般 ¥300 中高生 ¥150 小学生 ¥100	

北九州市立小倉城庭園

etc.

●住所／小倉北区城内1-2 ●休館日／なし ●アクセス／JR:「小倉駅」徒歩約10分、「西小倉駅」徒歩約7分
●開館時間／9:00～17:00(11月～3月は17:00まで 4～10月は18:00まで)受付は閉館30分前まで ●電話／093-582-2747

会 場	イベント	期 間(時間は上記)		入 場 料	問合せ先
書院棟	小笠原流 加冠の儀 一般公募で選ばれた新成人女性が小笠原流の成人式を体験します。	23(日)	12:00	小倉城庭園入館料 一般 ￥300 中高生 ￥150 小学生 ￥100	北九州市立小倉城庭園 093-582-2747

北九州市立こども文化会館(併設到津市民センター)

etc.

●住所／小倉北区下道津4-3-2 ●電話／093-592-4152 ●休館日／月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始
●アクセス／バス:「小倉北特別支援学校」徒歩1分・「金田陸橋西」徒歩5分 ●駐車場／20台 ●開館時間／9:00～17:00

会 場	イベント	期 間	開 演	入 場 料	問合せ先
児童劇場	節分イベント「門司消防団 伝統 梯子乗り」 女性消防団によるはしごの演技 他	1(土)	14:00	無 料	こども文化会館 093-592-4152
工作室	京友禅和紙でつくるひな人形 対象:小学生～高校生 先着10名	16(日)	14:00	¥400 ※材料費	こども文化会館 093-592-4152

北九州市立視聴覚センター

etc.

●住所／小倉北区城内4-1 ●電話／093-561-3131 ●休館日／月曜日(祝日の場合は翌日休館)
●アクセス／JR:「西小倉駅」徒歩10分 バス:「勝山公園」徒歩1分、「北九州市役所」徒歩5分 ●開館時間／9:30～18:00

イベント	期 間	開 演	入 場 料	問合せ先
子ども映画会 トムとジェリー「逃げてきたライオン」ほか 福は内! 鬼は外! ひなまつり	9(日)	14:00	無 料 (先着50名)	北九州市立視聴覚センター 093-561-3131
週末映画会 洋画「黄色いリボン」(アメリカ)	15(土)	14:00	無 料 (先着50名)	
クラシック・レコード・コンサート ドヴォルザーク作曲「ヴァイオリン協奏曲」ほか。楽曲解説あり。	16(日)	14:00	無 料 (先着50名)	
週末映画会 邦画「眠狂四郎無頼控」	22(土)	14:00	無 料 (先着50名)	

北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

etc.

●住所／小倉北区大手町11-4 ●電話／093-583-3939 ●休館日／所内整理日(毎月最終木曜日及び年4回の第2木曜日)、年末年始
●アクセス／JR:「西小倉駅」徒歩15分 バス:「ソレイユホール・ムーブ前」徒歩1分 ●駐車場／有り(有料) ●開館時間／9:30～21:30

会 場	イベント	期 間	開 演	入 場 料	問合せ先
ホール	北九州YMCA 日本語弁論大会	7(金)	13:30	無 料	北九州YMCA 093-531-1587
	Kaneko Music Academy ピアノ発表会 リトミック・ピアノ発表会	9(日)	13:00	無 料	Kaneko Music Academy 093-231-1145

北九州市立美術館分館

●住所／小倉北区室町1-1-1 リバーウォーク北九州5F ●電話／093-562-3215 ●開館時間／10:00～18:00(入館は閉館30分前まで)
●アクセス／JR:「西小倉駅」徒歩5分、「小倉駅」徒歩10分 バス:「室町・リバーウォーク前」下車 ●休館日／会期中無休

イベント	期 間(時間は上記)	入 場 料	問合せ先
レオ・レオニ 絵本のしごと 絵本原画・資料約100点 油彩・彫刻約30点	～2/16(日)	一般 ￥1,000 高大生 ￥600 小中生 ￥400	北九州市立美術館分館 093-562-3215

北九州市立松本清張記念館

●住所／小倉北区城内2-3 ●電話／093-582-2761 ●開館時間／9:30～18:00(入館は閉館30分前まで)
●アクセス／JR:「西小倉駅」徒歩5分 バス:「小倉城・松本清張記念館前」徒歩1分 ●休館日／なし

会 場	イベント	期 間(時間は上記)	入 場 料	問合せ先
企画展示室	北九州市制50周年・開館15周年記念特別企画展 「北九州市と松本清張」	～3/31(月)	常設展示観覧料に含む 大人 ￥500 中高生 ￥300 小学生 ￥200	松本清張記念館 093-582-2761

小倉井筒屋

●住所／小倉北区船場町1-1 ●電話／093-522-3111(代) ●定休日／不定
●アクセス／JR:「小倉駅」徒歩7分 ●展示時間／10:00～19:00※各最終日は16:00に閉場

会 場	イベント	期 間(時間は上記)	入 場 料	問合せ先
大画廊	生誕125年記念 「奥村土牛 版画展」	5(水)～11(火・祝)	無 料	小倉井筒屋 大画廊 093-522-2521
	萩焼 守繁徹 還暦「舞」展	12(水)～18(火)	無 料	
	高取八仙一門 茶陶展	19(水)～25(火)	無 料	
	茶の湯道具名品展	2/26(水)～3/4(火)	無 料	

小倉井筒屋



●住所／小倉北区船場町1-1 ●電話／093-522-3111(代) ●定休日／不定
●アクセス／JR:「小倉駅」徒歩7分 ●展示時間／10:00～19:00※各最終日は16:00に閉場

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
小画廊	第7回 小池壮太 油絵展	5(水)～11(火・祝)	無料	小倉井筒屋 小画廊 093-522-2521
	暮らしを彩る萩焼の器 時松泰礼 作陶展	12(水)～18(火)	無料	
	山中三平 創作こけし展	19(水)～25(火)	無料	
	日本画・洋画小品展	2/26(水)～3/4(火)	無料	

小倉城



●住所／小倉北区城内2-1 ●開館時間／4月～10月 9:00～18:00 11月～3月 9:00～17:00(入館は閉館30分前まで)
●アクセス／JR:「小倉駅」徒歩20分、「西小倉駅」徒歩10分 都市高速:大手町ランプより車で5分 ●電話／093-561-1210

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
1階歴史ゾーン	三城物語 ～中津城から小倉城、そして熊本城へ細川家の軌跡～ 小倉城を築城した細川家にスポットをあて、所蔵品他、紹介展示	～3/30(日)	大人 ¥350 中高 ¥200 小学生 ¥100	小倉城 093-561-1210
4階市民の大広間	北九州技の達人 まごじ風作品展 特産工芸品として、引き継がれる職人の技の数々をご覧ください。	4(火)～26(水)	大人 ¥350 中高 ¥200 小学生 ¥100	

水環境館



●住所／小倉北区船場町1-2 ●電話／093-551-3011 ●開館時間／10:00～20:00 ●休館日／年末年始
●アクセス／JR:「小倉駅」徒歩10分、「西小倉駅」徒歩10分 バス:「勝山橋」徒歩1分、「魚町」徒歩3分

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
多目的ホール	水曜コンサート「シャンソンとピアノの奏べ」 歌:酒井京子 ピアノ:湯田美津子	5(水)	14:00	無料	水環境館 093-551-3011
	水曜コンサート「バイオリンとピアノの奏べ」 バイオリン:加来洋子 ピアノ:湯田美津子	19(水)	14:00	無料	

小倉南生涯学習センター



●住所／小倉南区若園5-1-5 ●電話／093-931-1286 ●休館日／毎週月曜(祝日の場合は翌日休館)、年末年始
●アクセス／バス:「小倉南区役所」徒歩1分、「企教中学校前」徒歩2分 モノレール:「北方駅」徒歩12分 ●開館時間／9:00～22:00

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	カラオケ大会	16(日)	9:30	無料	西日本カラオケ連合 093-962-1298(須藤)
展示コーナー	小倉南日本画会員・会友展	2/18(火)～3/2(日) 9:00～17:00 ※2/18(火)は12:00から、 3/2(日)は15:00まで		無料	小倉南美術協会日本画部 093-962-6467(河合)

北九州イノベーションギャラリー(産業技術保存継承センター)



●住所／八幡東区東田2-2-11 ●電話／093-663-5411 ●休館日／毎週月曜(祝日の場合は翌日休館)、年末年始 ●駐車場／市営駐車場(いのちのたび博物館横) 大型30台、普通300台(有料)
●アクセス／JR:「スペースワールド駅」徒歩5分 バス:「いのちのたび博物館」徒歩3分 ●開館時間／平日9:00～19:00※土日祝日9:00～17:00まで(展示室入室は閉館30分前まで)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
企画展示室	企画展「色イロひろがる 印刷発見展」 印刷の歴史や基礎的な知識、最新技術などを紹介	～3/9(日)		一般 ¥500 小～高校生 ¥100	北九州イノベーションギャラリー 093-663-5411
多目的スペース	特別企画展「官営八幡製鐵所の開業に活躍した九州鉄道大蔵線 ～赤煉瓦橋梁からみた草創期の鉄道」	～3/30(日)		無料	

北九州市立旧百三十銀行ギャラリー



●住所／八幡東区西本町1-20-2 ●電話／093-661-9130 ●開館時間／10:00～18:00
●アクセス／JR:「八幡駅」徒歩5分 西鉄バス:系統番号1,系統番号22 ●休館日／年末年始

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
ギャラリー	八幡赤レンガの会 ひな祭り	21(金)～23(日)	無料	旧百三十銀行ギャラリー 093-661-9130

北九州市立いのちのたび博物館(自然史・歴史博物館)



●住所／八幡東区東田2-4-1 ●電話／093-681-1011 ●開館時間／9:00～17:00(入館は閉館の30分前まで)
●アクセス／JR:「スペースワールド駅」徒歩5分、バス:「いのちのたび博物館」徒歩1分
●駐車場／市営駐車場(いのちのたび博物館横) 大型30台、普通300台(有料) ●休館日／年末年始、6月下旬頃(約1週間)

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
歴史ぽけっと企画展 「北九州街道物語2 黒崎宿」 長崎街道の宿場として栄えた黒崎に伝わる文化財を紹介し、黒崎宿の歴史と役割を明らかにします。	～3/31(月)	9:00	※要常設展観覧料	いのちのたび博物館 093-681-1011
歴史ぽけっと企画展 「さぐってみよう 昔のくらし」 明治から昭和時代にいたるくらしと変化について、着物やさまざまな道具を中心に紹介します。	～3/31(月)	9:00	※要常設展観覧料	
冬の特別展「仁川広域市立博物館・旅順博物館の名品展」 北九州市制50周年を記念して仁川・旅順両博物館の所蔵品を、青銅鏡・陶磁器・絵画を中心に紹介します。	～11(火・祝)	9:00	※要常設展観覧料	
冬の特別展関連イベント「韓国・中国のお正月体験」 両国のお正月行事、遊び、衣装を紹介し、体験することによって生活文化に触れることができます。	2(日) 9(日)	①10:00 ②14:00 14:00	※要常設展観覧料	

ジャンルごとに色分けして表記しています。

演劇・舞踊 音楽 美術・展示 etc. 映像・その他催し

※催しは内容など変更になる場合がございますので
必ず各問合せ先又は各施設にお問い合わせ下さい。

北九州市立いのちのたび博物館(自然史・歴史博物館)

etc.

●住所／八幡東区東田2-4-1 ●電話／093-681-1011 ●開館時間／9:00～17:00(入館は閉館の30分前まで)
●アクセス／JR:「スペースワールド駅」徒歩5分、バス:「いのちのたび博物館」徒歩1分
●駐車場／市営駐車場(いのちのたび博物館横)大型30台、普通300台(有料) ●休館日／年末年始、6月下旬頃(約1週間)

イベント	期 間	開 演	入 場 料	問合せ先
ズグロカモメを見る！ 曽根干潟で、ズグロカモメなど干潟の冬鳥を観察します。	2(日)	10:40	¥50 ※要申込	いのちのたび博物館 093-681-1011
カワセミを見る！ 紫川で、カワセミや冬の水鳥を観察します。	23(日)	9:00	¥50 ※要申込	

北九州市立児童文化科学館

etc.

●住所／八幡東区桃園3-1-5 ●電話／093-671-4566 ●開館時間／9:00～17:00(入館は閉館30分前まで)
●アクセス／バス:「市立児童文化科学館前」徒歩5分 ●休館日／月曜日(祝日の場合は翌日休館)・年末年始

会 場	イベント	期 間	開 演	入 場 料	問合せ先
会議室	サイエンスショー 「電流と磁石に関する実験」	11(火・祝)	14:30	無 料	児童文化科学館 093-671-4566

北九州市立西部勤労婦人センター(レディスやはた)

etc.

●住所／八幡東区尾倉2-6-6 ●電話／093-661-1122 ●休館日／月曜日、祝日、年末年始 ●開館時間／火曜日～土曜日 9:00～21:00 日曜日 9:00～17:00
●アクセス／JR:「八幡駅」から徒歩10分 バス:「八幡駅入口第一・第二」、「市立八幡病院」から徒歩3～5分

会 場	イベント	期 間	開 演	入 場 料	問合せ先
能舞台	築城 則子 氏 講演会 小倉織・縞の絆	8(土)	14:00	無 料 ※要申込	北九州市立西部勤労婦人センター(レディスやはた) 093-661-1122

八幡市民会館

●住所／八幡東区尾倉2-6-5 ●電話／093-671-6061 ●休館日／年末年始 ●開館時間／9:00～22:00
●アクセス／JR:「八幡駅」徒歩7分 バス:「八幡駅入口第一」徒歩5分 ●駐車場／110台(共用)

会 場	イベント	期 間	開 演	入 場 料	問合せ先
美術展示室	第18回 藍の会作品展 洋画・水彩画 約50点	20(木)～26(水) 10:00～17:00 ※20(木)は13:00から、 26(水)は16:00まで		無 料	藍の会 093-692-3273(河野)

黒崎井筒屋

●住所／八幡西区黒崎1-1-1 ●電話／093-643-5111(代) ●定休日／不定
●アクセス／JR:「黒崎駅」徒歩1分 ●展示時間／10:00～19:00※各最終日は17:00に閉場

イベント	期 間	入 場 料	問合せ先
ヘレンドフェア	1/28(火)～2/2(日)	無 料	093-643-5268
～西洋の美～ ヨーロッパアンティーク展	11(火・祝)～16(日)	無 料	
佐藤 勝彦の世界展	18(火)～23(日)	無 料	
シルクニットの世界 ゆすのきむつこ	2/25(火)～3/2(日)	無 料	

黒崎びびしんホール(北九州市立黒崎文化ホール)

etc.

●住所／八幡西区岸の浦2-1-1 ●電話／093-621-4566 ●休館日／年末年始 ●開館時間／9:00～22:00
●アクセス／JR:「黒崎駅」徒歩5分 筑豊電鉄:「黒崎駅」徒歩8分 西鉄・市営バス:「熊手四つ角」バス停より降りてすぐ 北九州都市高速・黒崎ICから5分

会 場	イベント	期 間	開 演	入 場 料	問合せ先
大ホール	第45回第二文化幼稚園お遊戯発表会	8(土)	10:00	関係者のみ	第二文化幼稚園 093-611-1436
	おゆうぎ会	11(火・祝)	13:00	無 料	学校法人済世学園 済世第二幼稚園 093-631-5087
	おゆうぎ会	16(日)	13:00	無 料	学校法人済世学園 済世第一幼稚園 093-671-2192
	第2回パレードピース定期演奏会	23(日)	13:00	無 料	パレードピース 080-1926-7490(入江)
中ホール	『昔mattoの町があった』上映会	1(土)	13:30	¥1,000	あかつき会 家族会 093-882-6648(水野)
	カワイうたのコンクール 北九州地区予選会	2(日)	10:30	無 料	カワイ音楽教室小倉センター 093-521-5453
	ひまわり保育園 生活発表会	8(土)	10:30	関係者のみ	ひまわり保育園 093-622-2380
	「うまれる」上映会	11(火・祝)	10:00 14:00	¥800 (当日¥200増)	ピリズム 070-5274-8838
	北九州子ども劇場 2月乳幼児部・低学年部例会 「火よう日のごちそうはひきがえる」 人形劇団京芸	14(金) 15(土)	18:30 14:00 18:30	¥1,300 (会員制)	北九州子ども劇場 093-884-3834
	ひなまつり発表会	16(日)	13:00	関係者のみ	学校法人秋百学園 穴生幼稚園 093-631-5874
	ミュージカル クリエーション Vol.11 「オペラ座の怪人」	22(土)	18:00	無 料	ミュージカル クリエーション 090-7986-5980(野口)

北九州市立美術館 黒崎市民ギャラリー

●住所／八幡西区黒崎3-15-3 コムシティ3F ●電話／093-644-5206
●開館時間／9:00～19:00(入館は閉館30分前まで)※企画展により異なる

イベント	期 間	入 場 料	問合せ先
川柳・俳句アートみたいな命の叫び展 川柳と俳句の展示	3(月)～9(日)	無 料	093-871-4739(秦)
二宮庸夫遺作展 洋画の展示	8(土)～11(火・祝)	無 料	093-611-3939(二宮)
自然染めとシルクの服展 工芸	10(月)～13(木)	無 料	アトリエ サラサ 092-953-6395(星野)
「みんな晴れの日」展 児童画	15(土)・16(日)	無 料	カワイ絵画造形教室 090-7382-2796(松尾)
福岡教育大学中等書道科卒業制作展 書	17(月)～23(日)	無 料	福岡教育大学中等書道科 080-3950-1506(曾我部)
藤井近展一月と太陽一 和紙・写真・オブジェによる作品	24(月)～3/2(日)	無 料	093-621-0073(藤井)

北九州市立美術館本館

●住所／戸畑区西鞘ヶ谷町21-1 ●電話／093-882-7777 ●休館日／月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始
●アクセス／バス:「美術館口」徒歩10分、「七条」[美術館口]より無料シャトルバス運行 ●開館時間／9:30～17:30(入館は閉館30分前まで) ●駐車場／180台

会 場	イベント	期 間	開 演	入 場 料	問合せ先
コレクション展示室	コレクション展Ⅳ 加納光於と中西夏之 油彩・版画など約70点	1/25(土)～4/13(日)		一般 ¥150 高大生 ¥100 小中生 ¥50	北九州市立美術館 093-882-7777
企画展示室	柳瀬正夢 1900-1945 大正・昭和を駆け抜ける 油彩・水彩・ポスター・資料等	～2/2(日)		一般 ¥1,000 高大生 ¥600 小中生 ¥400	
市民ギャラリー	赤馬展 洋画・日本画・彫刻・工芸など	1/28(火)～2/2(日)		無 料	福岡教育大学美術科 090-2854-7936(木須)
	志井・志徳幼稚園の年長組による紙版画展 幼稚園児による紙版画	11(火・祝)～16(日)		無 料	学校法人 村端学園 093-961-1948(村端)
	北九州市立小・中学校合同美術展 児童・生徒作品(絵画・立体・工作)	22(土)～3/2(日)		無 料	北九州市小学校図画工作科 教育研究会 093-641-4712(門司)

戸畑市民会館(ウェルとばた内)

●住所／戸畑区汐井町1-6 ●電話／093-871-7200 ●開館時間／9:00～22:00
●アクセス／JR:「戸畑駅」徒歩1分 バス:「戸畑駅」徒歩1分 ●休館日／年末年始

会 場	イベント	期 間	開 演	入 場 料	問合せ先
大ホール	小倉北区民文化祭(邦楽演奏会)・伝統を学ぶ子ども達 第1部 三味線・お囃子・箏の演奏会 第2部 子供の演奏と歌舞伎舞踊「京鹿子娘道成寺」	2(日)	12:00	¥1,000	小倉北文化連盟 093-521-5352(松浦)
	福岡県立小倉工業高等学校 吹奏楽部 第8回定期演奏会 曲目:ラプンディール・イン・ブルー、AKB48メドレー ほか	8(土)	13:30	無 料	福岡県立小倉工業高等学校 093-571-1738(橋本)
	ニューイヤーコンサート	9(日)	11:00	無 料	九州・山口音楽協会 080-6412-2509(辻)
	高嶋ちさ子コンサート みんなのための音楽室 ～室内楽編～ チェロ:古川展生 ピアノ:清塚信也	15(土)	15:00	チケット完売 主席指定	(公財)北九州市芸術文化振興財団 音楽事業課 093-562-3611
	第49回 創作ダンス研究発表会 幼稚園児・小・中・高・大学・社会体育の20団体程の出演。楽しいダンスを踊ります。	22(土)	13:30	無 料	福岡県女子体育連盟 093-881-1147(酒井)
中ホール	貞国音楽院 ピアノ・ヴァイオリン・チェロ発表会	2(日)	10:30	無 料	貞国音楽院 093-202-7439(貞国)
	新春舞初の会	8(土)	12:30	¥1,000	北九州邦友会 090-7154-8065(秋武)
	第38回 ピアノ演奏グループ「未来」定期演奏会	22(土)	17:00	一般 ¥1,500 学生 ¥1,000	ピアノ演奏グループ「未来」 090-1921-5761(末次)
	九州・山口音楽協会創立30周年事業 岡田将ピアノリサイタル リスト:ラ・カンパネラ など 連弾 サン・サーンス:動物の謝肉祭 共演 永野栄子	27(木)	19:00	一般 ¥3,000 学生 ¥2,000	九州・山口音楽協会 080-3972-3789(大山)

平成25年度 **合唱組曲「北九州」演奏会** ふるさと“北九州”をうたう

指揮 増井信貴／管弦楽 九州交響楽団

第1部 ロシアバレエ音楽の世界 ～ソチ五輪によせて～

チャイコフスキー／バレエ「くるみ割り人形」より

行進曲
こんぺい糖の踊り
ロシアの踊り
あし笛の踊り
花のワルツ

ハチャトゥリアン／バレエ「ガイーヌ」より

ばらの乙女の踊り
剣の舞

チャイコフスキー／バレエ「白鳥の湖」より

情景
ワルツ
4羽の白鳥の踊り
チャルダッシュ

ハチャトゥリアン／組曲「仮面舞踏会」より

ワルツ



2013.2.17 北九州市制 50 周年記念 北九州交響楽団 & 合唱組曲「北九州」記念演奏会

第2部 合唱組曲『北九州』 作詞／栗原 一登、作曲／團 伊玖磨

合唱／北九州をうたう会 北九州市立浅川中学校合唱部

北九州市立石峯中学校合唱部 北九州市立折尾中学校合唱部

北九州市立上津役中学校合唱部 北九州市立二島中学校合唱部

北九州市立本城中学校コーラス部 九州国際大学付属中学校音楽部

児童合唱／門司少年少女合唱団 北九州市少年少女合唱団

北九州アカデミー少年少女合唱団

若松少年少女合唱団 北九州市小倉少年少女合唱団

北九州少年合唱隊 ひびき少年少女合唱団

祇園太鼓／小倉祇園太鼓保存振興会

※都合により出演者、演奏曲目が変更になる場合もありますので予めご了承下さい。

**アルモニーサンク北九州
ソレイユホール**

3月

9(日)

15:00
(14:00開場)

北九州市小倉北区大手町12-3

料金:全席自由

一般2,000円 学生1,000円 ※当日各500円増

※前売で完売した場合、当日券は販売いたしません。

※未就学児入場不可。託児有 (有料・要予約 0120-400-829)

チケット
好評
発売中!!

お問合せ先 (公財)北九州市芸術文化振興財団 音楽事業課 TEL.093-562-3611

MONO 第41回公演「のぞき穴、哀愁」
のぞくことを仕事にする人々を描く、哀愁漂う密室劇。



◇作・演出 土田英生

◇出演 水沼健、奥村泰彦、尾方直久、金替康博、土田英生

／森谷ふみ(ニッポンの河川)、古藤望(マゴノテ)、高橋明日香(kitt)、松永渚

舞台だけでなくドラマ「斉藤さん」「斎藤さん2」などの脚本でもおなじみの土田英生が描く、コミカルでテンポのよい会話劇が人気の劇団MONOの新作が上演決定!

劇団MONOのメンバー 40 代の男 5 人が、大変な状況のもと、追い詰められれば追い詰められるほどに輝きを増す、“ほっとけない男たち”“憎めないダメ男たち”を演じます。さらに今回は、高橋明日香、松永渚などのかわいい若手キャストを迎えてお届けする大人のコメディです!

のぞく人々を、客席からのぞく……。観客もある種のドキドキ感を楽しめる一風変わった世界をお楽しみに。

3月
14:00 (13:30開場)
18:00 (17:30開場)
1(土) 2(日)
★…終演後、トークイベントあり

料金:全席指定

一般 3,500円

学生 3,000円(要学生証提示)

※当日各300円増

※未就学児入場不可 (託児あり)

北九州芸術劇場 小劇場

チケット
好評
発売中!!

お問合せ先 北九州芸術劇場 TEL.093-562-2655

ジャンルごとに色分けして表記しています。



演劇・舞踊



音楽



美術・展示



etc. 映像・その他催し

※催しは内容など変更になる場合がございますので必ず各問合せ先又は各施設にお問い合わせ下さい。

CulCulの主な設置場所

市内J R駅、市民会館、市民センター、生涯学習センター、図書館、市内体育施設、北九州空港、男女共同参画センター・ムーブ、井筒屋、モノレール駅、レインボープラザ、北九州芸術劇場プレイガイド・インフォメーションなど



2014年2月号表紙
北九州市立美術館
本館・アネックス アトリウム

北九州市芸術文化情報誌「CulCul」・「かるかる」

■発行日／2014.2.1 ■発行／北九州市、(公財)北九州市芸術文化振興財団 出版事業課
〒805-0019 北九州市八幡東区中央二丁目1-1-7F TEL:093-662-3012 FAX:093-662-3016

情報コーナー

■現代美術センターCCA北九州

「CCAサウンド・ワーク ショップ・ライブ」

2月27日(木) 午後6時45分開場、同7時開演、北九州芸術劇場小劇場(小倉北区室町ノリバーウォーク北九州6F)。ステイプン・オマリ、オーレン・アンバーチ、ジム・オルークを迎え、実験音楽(サウンド・アート)のライブパフォーマンスを行う。入場料、2000円(要事前申込)。希望者は、参加者全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記し、往復はがき・FAX・Eメールのいずれかで左記申込先まで。2月20

日(木) 必着。

〒805-0059 北九州市

八幡東区尾倉2の6の1

現代美術センターCCA北九州

「サウンド・ワーク・ショップ・ライブ」係。

093(663)1615

FAX093(663)1610

mail@cca-kiakyushu.org

■北九州ソレイユホール

「はいだしょうこ with いとうまゆファミリーコンサート」

3月16日(日) 午前10時30分開場、同11時開演。午後1時開場、同1時30分開演。アルモニーサンク北九州ソレイユホール(小倉北区大手町)。NHK「おかあさんといっしょ」で活躍した、はいだしょうこ(歌の

おねえさん)と、いとうまゆ

(身体表現ゴツチャ! のおねえさん)によるファミリーコンサート。曲目は「アイアイ」、

「キッチンオーケストラ」ほか。全席指定。入場料、2500円。1歳以上有料(1歳未満

でも席が必要な場合は有料)。

北九州ソレイユホール

093(592)5405



■NPO法人北九州リバーサイドミュージックBOX

環境未来都市推進支援事業

多へ、ソロを東京へ。

モスクワ留学中に欠かさず聴いた彼女のコンサートは、どれも筆舌に尽くし難い演奏で、毎回ため息の連続でした。時代を逆行したかの様な出で立ち。微笑みすら無いポスター写真。

エリン・ヴィルサラゼ

そのすべてがカッコ良かった。

ところが、今回のコンサート

の写真。「笑っている」「少し年

を取った」。かなり衝撃。でも、

当たり前ですね。人は年を取り

ます。「初恋の人に大人になっ

て会わない方がよい。幻滅す

るから」とよく言われますが、

『ヴィルサラゼさん』は違う、

永遠に不滅だと信じています。

彼女の演奏の偉大さに、年齢で

人を語ることの空しさを教えら

れ、そして、止むことなく究め

たピアノを突きつけられる

ことでしょう。

演奏会が待ち遠しい。22年前

の「全身に鳥肌がたち、震えが

止まらず、興奮して眠れなかつ

た」、あの感動をまた味わいに

行ってきます!

グリーンオペラ「なの花のおはなし」

3月28日(金) 午後2時30分開

場、同3時開演、黒崎ひびしん

ホール大ホール(八幡西区岸の

浦)。「環境未来都市」に選定さ

れた北九州市オリジナルのオ

ペラ作品。循環型社会への取り

組みのひとつである「菜の花プロ

ジェクト」をテーマに、音楽を

通して環境メッセージを届け

る。観劇対象は、小学生を中心

とする児童。入場料、500円。

NPO法人北九州リバーサイド

ミュージックBOX

093(642)8818

■北九州市ジュニアオーケストラ

「第17回 チャリティースプリ

ングコンサート」



曲第7番第3楽章」ほか、団員

自ら企画したステージを届け

る。全席自由。入場料、無料

(要整理券)。整理券は大手町練

習場(小倉北区大手町ノリバー

ビル9F)にて3月3日(月)

より配布開始予定。

北九州市ジュニアオーケストラ

事務局

093(583)5282

「CulCul」を電子ブックでも閲覧することができます

パソコン版

(公財)北九州市芸術文化振興財団のホームページからご覧になれます ▶ [北九州文化](http://www.kicpac.org/) 検索 URL: <http://www.kicpac.org/> ※TOPページ左メニューの出版事業からCulCulを閲覧できます

スマートフォン・タブレット版

無料の電子ブック閲覧アプリ「ActiBook」でご覧になれます

①「App Store」または「Playストア」からアプリをインストール

②「ActiBook」アプリを立ち上げて「検索」メニューから「culcul」で検索



「かるかる」をPDFでも閲覧することができます

ホームページからご覧になれます ▶ [かるかる](http://www.kicpac.org/culcul/index.html) 検索 URL: <http://www.kicpac.org/culcul/index.html>

二次元コードからでもご覧になれます。



※催しは内容など変更になる場合がございますので必ず各問合せ先又は各施設にお問い合わせ下さい。

シリーズ初、女性の感性で描く、北九州の町の匂いの群像劇 北九州芸術劇場プロデュース『彼の地』

北九州芸術劇場 広報係 岩本史緒 Fumiwo Iwamoto



撮影：重松美佐

北九州芸術劇場プロデュース・シリーズとは？

北九州芸術劇場は年に数本自ら企画・製作する演劇作品を発表していますが、本シリーズにはいくつかの特徴があります。その一つは、第一線で活躍する劇作家・演出家が北九州に滞在し、地元を中心とする役者陣とスタッフと共に新作を創る、ということ。これまで、鐘下辰男、福岡出身の東憲司、松村武と

北九州で創り、発信する北九州芸術劇場プロデュースシリーズ。
7作目の今回は、小劇場からミュージカルまで幅広く活躍する
桑原裕子を作・演出に迎えます。

いった、着実な創作を続ける中堅に加え、松井周や柴幸男、藤田貴大といった新進気鋭の劇作家・演出家が北九州に約1カ月半滞在し、この町で生活しながら作品を創っていました。もう一つの特徴は、このシリーズで創られる作品に、「北九州らしさ」を感じること、という共通のコンセプトがあること。これまで、筑豊出身の若者の青春を描いた五木寛之原作の『青春の門 放浪篇』。TOTOとタッグを組みトイレに革命を起こす男たちを描いた『BEN』の他、海や港、市場や工場など、アーティストが実際に北九州で暮らし、町を歩き、人々と話をしながら得たこの町の雰囲気・印象を軸に多様な作品が創られました。また北九州で作品を創ることで、創作に関わるアーティストやスタッフがこの町に集まり、小さなコミュニティが形成されます。そこでの出会いが新たなアイデアを生んだり、次の作品に繋がったりすることで、芝居の世界のネット

トワークが広がっていきます。「ものづくり」で成長したこの町の空気と、人々が持つ「ものづくり」のスピリットは、演劇作品の創作にも生かされているようです。

さらにこのシリーズの特徴は、この町で創られた作品を東京でも上演することです。外に向かつて発信することで、北九州で生まれた作品が、より多くの観客と出会い、批評を受け、成長できます。作品と一緒に「北九州」の名前も旅をする、といったこともお芝居の素敵なところ。

桑原裕子が描く 北九州の町の空気

そんな北九州芸術劇場プロデュース・シリーズに今回登場するのは、シリーズ初となる女流劇作家・演出家の桑原裕子。東京を拠点に活動する劇団KAKUTAを主宰し、作・演出も兼ねる他、ほぼ全作品に出演。2010〜13年にかけて

は、30年以上続くブロードウェイミュージカル『ピーターパン』の潤色・作詞・演出を手掛けるなど、劇団の外でも活躍の幅を広げています。緻密なプロットと台詞をベースに、日常を生きる人々の生活や感情の細やかな描写が魅力の桑原作品。幅広い世代から支持を集める彼女が北九州で挑む新作のタイトルは『彼の地（かのち）』。「彼の地」という言葉には、「憧れの場所とか記憶の中の故郷とか、ちよつと遠い場所に想いを馳せるときに使う」イメージがある、という桑原。「北九州に住む人、出て行く人、やってくる人、かつて居た人」など、場所と人との様々な関わりを複層的に描きながら、北九州のまちの空気が漂う作品になれば、とのこと。個々の役者の個性を生かしつつ紡がれるこのまちの物語に、どうぞご期待下さい。

※1 元々の台本に手を加え、おもしろくすること
※2 演劇作品の筋や構想

※日時、15ページの北九州芸術劇場の欄をご確認ください。



津波翌日（早朝）の石ノ森萬画館周辺の様子



漫画と北九州

北九州市漫画ミュージアム 学芸員

郷田和代 Kazuyo Goda

漫画 hiroba

震災から間もなく3年。 石巻で見た漫画施設の存在感

今年1月11日より開催中の「震災復興と漫画」展。北九州という場所で、石巻や福島など、東日本大震災の被災地について思いを馳せてもらえる展示となっています。

今回の展示準備で、11月末、石ノ森萬画館に行きました。仙台空港に降り立ち、そこから電車を乗りつぎ石巻駅へ。海沿いの列車は、線路が復旧せず、バスなどによる代行運転を行っているため、石ノ森萬画館までも迂回路で向かいました。車窓から見える景色は、震災から3年を迎えようとして、ようやく瓦礫の撤収などが終わり、新たな家や仮設住宅などの建築が進ん



石ノ森萬画館外観

でいるところでした。テレビや新聞を通じての震災情報も以前に比べて少なくなり、被災地は落ち着いたのだらうと、九州にいたると思ってしまう。しかし、実際に訪れて、現地の様子を見たり聞いたりして感じたことは、震災はまだ終わっていない、ということでした。

東日本大震災当日、石ノ森萬画館には6メートルにも及ぶ津波が押し寄せました。一階部分は、グッズ商品など多くの物が流された他、電気や空調などの基幹設備が全壊しました。しかし被害は一階だけだったということで、震災後数日間、石ノ

森萬画館にも40名程の人が避難をしたそうです。大量に流れついたがれきの撤収に石ノ森萬画館のスタッフやボランティアが協力して作業を行い、早すぎるという声もある中、義援金や漫画家の協力など、たくさんの支援の下、2012年11月17日、東日本大震災から1年8ヶ月を経て、再オープン。それから常設展示室のリニューアル工事をし、2013年3月23日にリニューアルオープンの日を迎えました。

石ノ森萬画館は、「株式会社街づくりまんばん」が指定管理者で運営を行っています。この企業は、人材育成、市街地の活性化、産業振興などを目的に、地域づくりをしていて、そうした企業が漫画施設を運営しているというのは、全国的にも珍しいことです。今回、株式会社街づくりまんばんの木村仁さんからは、未来のために、どのような街づくりを行っていくかなど、熱いお話を伺うことができました。

また、東日本大震災を通じて、たくさんの漫画作品も生まれました。

『ヒーローズカムバック』や、『僕らの漫画』『あの日からのマンガ』。そして、福島第一原発での作業員としての経験を描

いた『いちえふ』など。当館でも、そうした震災復興関連の作品を読めるコーナーを設置しています。

訪問した日には、石ノ森萬画館で漫画をテーマにした文化施設の役割やあり方について考える「漫画関連施設連携シンポジウム」も開催されました。石ノ森萬画館、石ノ森章太郎ふるさと記念館、横手市増田まんが美術館の活動報告などが行われました。全国から漫画ミュージアム関連施設のメンバーが集まり、連携や地域の活性化などについて、話し合いました。今回は、石ノ森萬画館などの協力で展示が行われていますが、今後とも全国にある他の施設とのつながりも増やしていきたいと思っています。

Information

「震災復興と漫画」展

【開催期間】1月11日(土)～2月2日(日)

【開館時間】※毎週火曜日(休日の場合はその翌日)休館
午前11時～午後7時(入館は午後6時30分まで)

【会場】北九州市漫画ミュージアム

【入館料】常設展観覧料で観覧可能

一般 400円 中高生 200円

小学生 100円 小学生未満 無料

【お問合せ】

北九州市漫画ミュージアム 093(512)5077



美術 hiroba

北九州アートめぐり

キュレーター

花田 伸一 Shinichi Hanada

小学校の二宮金次郎像

市内のいくつかの小学校に二宮金次郎の彫刻が設置されています。本誌読者の中には母校に置かれていた二宮像を懐かしく思い出す方もあるでしょう。

さて、これは美術作品すべてに言えることですが、作品が担う意味や解釈のされ方は、作品を見る人の価値観や時代背景によって常に変わります。特に公共の場所に恒久的に置かれる美術作品（パブリックアート）は、その作品が置かれた場所の性格や社会背景などによって、意味や解釈が大きく変わってきます。

たとえば、東京の八重洲ブックセンターの入口にも（文字通り「金」色の）二宮金次郎像が置かれていますが、この像に担わされたメッセージは言うまでもなく「読書の奨励」でしょう。つまり「良き読書人のお手本」としての二宮像ということです。

また、企業のロビーなどに二宮像がもしあれば、それは「ビジネスマンのお手本」として設置されたものでしょう。二宮はよく知られるように「苦学と孝行」の人というよりも、むしろ、市場社会の考え方を持つ合理主義者でした。問題分析、経費節減、資産運用などの才に長け、人口もGDPも伸びない江戸後期の低成長時代にあって農

村復興を見事成功に導きます。そこでは読書家、勉強家としての二宮というよりも、実業家でもあり優秀なコンサルタントでもあった二宮の思想・哲学や行動力を大いに学べしということでしょう。

さて、小学校に置かれた二宮像は「寸暇を惜しんで勉学に励む姿」を子どもに示す、ということが主な役割でしょう。国内の小学校に二宮像が多く置かれた時期は主に昭和初期で、その背景には自主的に国家に献身・奉公する国民育成政策がありました。そこで二宮像が担う意味は「良き学習者のお手本」であり「道徳実践者のお手本」ということでしょう。戦後になると、そのようなイメージがその通り継承されるケースもあれば、一方で「戦時教育の名残であり、今の児童の教育方針にそぐわない」という指摘や「歩いて本を読むのは危険」という声もあがったりするなど、像の解釈も様々なものになってきています。

このように姿かたちが同じ（あるいは似た）像であつても、それが置かれる場所の性質や人々の価値観、社会背景の違いによって、像の意味や解釈は常に変わってきます。ということは、これもまたすべての美術作品に言えることですが、とり

わけ公共の場所に恒久的に置かれる彫刻作品やモニュメントでは、モノを残し伝えていくことに加えて、そのモノにまつわるモノ語りをいかに伝えていくかが、モノの保存と同様あるいはそれ以上に大事なのだということが分かります。

二宮像に限らず、市内に設置されたパブリックアート作品を改めて見直してみても、その作品にまつわるモノ語りを掘り起こし、次世代へ伝えていくことが必要なのではないかと思えます。モノ語りが失われたり、変わっていきたりする前に。





『ガラスの城』講談社文庫



清張アラカルト

北九州市立松本清張記念館 専門学芸員

小野芳美 Yoshimi Ono

時間旅行の入口

清張作品再読『ガラスの城』

今回は『ガラスの城』をご紹介します。1962年から63年にかけて雑誌『若い女性』に連載された現代ミステリーで、何度かテレビドラマ化されたものをご記憶の方もいらっしゃるかもしれません。舞台は都心の高層ビルにオフィスを構える商社で、社員旅行先の修善寺で突然課長が失踪し、社員たちが真相に迫るという物語です。

先日、この作品について問い合わせがありました。「『ガラスの城』を文庫本で読んでいます。が、64年開業の新幹線が登場するのは、どうしてでしょうか」とのお尋ねです。なるほど、連載時は新幹線はまだ走っていませんね……たしかに不思議です。

指摘の箇所は「この時間だと、とても課長は新幹線の終列車に間に合っていない」という一文です。調査したところ、雑誌連載時の誌面では「この時間だと、とても課長は終汽車に間に合っていない」となっており、新幹線は連載後の単行本化に伴い、書き加えられたことがわかりました。

清張は連載時の文章に手を入

れ、ブラッシュアップして単行本化することがしばしばあります。歴史に関する作品では特に顕著で、たとえば『古代探求』では、通常は2回で校了（修正を終わらせ、決定稿とすること）にするものが、なんと6回も手を入れつづけました。修正を受けるたびに紙面を組み直す出版社側の苦勞はいかばかりだったかと思いますが、ゲラ（校正のための仮刷り）に書き込まれた丁寧で繊細な訂正の文字からは、読者に少しでも情報を正確に届けたい、楽しませたいという清張の想いが滲み出ています。

さらに『ガラスの城』の雑誌掲載誌版と単行本とを比較していくうち、全体的にミステリー作品にしては多く手が入っていることが分かってきました。『ガラスの城』の単行本化は連載終了から13年を経た76年で、この間の時代の変化が反映されているのです。いわゆる「高度経済成長期」を挟んだ13年間の社会の変化は大きく、用語や年齢設定なども時代を反映し大幅に変

更されています。

たとえば先の一文では「新幹線」が採用されているだけですが、修善寺から東京までの所要時間に触れた別の箇所では、到着が約1時間短く修正されていました。これはちょうど新幹線の利用で短縮される時間です。

今回の調査では当時の時刻表が役立ちました。東海道新幹線開業に沸き立つ雰囲気が出ていたり、現在は廃線の路線が現役だったりと、興味深い日常が封じ込められています。「点と線」の登場人物は時刻表で空想旅行をしますが、過去の時刻表は時間旅行の入口にもなります。

『ガラスの城』ではほかに、都心の職場（雑誌では「東京駅前の新丸ビル」）までの通勤に、荻窪在住の主人公は、雑誌では「中央線」、単行本では「地下鉄」を利用します。（「地下鉄」の採用は、連載掲載後に地下鉄丸の内線の新宿・荻窪間が開通し便利になったことを反映しているのです。また、「BGって何？」という筆者のような読者のために「OL」と書き直されています。りと、用語も変更されています。雑誌・単行本それぞれの読者を楽しませたいという清張の心遣いが感じられます。（ちなみに、BGとはbusiness girlの略語で、連載当時一般的に使われていたそうです。）

時代が変わっても面白く読めてしまうのが清張作品の凄いくところ。ミステリーの醍醐味と併せて作品の時代や雰囲気もどうぞ楽しんでください。



『古代探求』ゲラ

Information

北九州市立松本清張記念館
北九州市小倉北区城内2の3
093(582)2761

【観覧料】※()内は団体料金

一般 500円(400円)

年長者利用証提示:400円

中・高生 300円(240円)

小学生 200円(160円)

【開館時間】(入館は午後5時30分まで)

午前9時30分～午後6時

【休館日】年末(12月29日～12月31日)

観客参加型の演劇 「フォーラムシアター」



「フォーラムシアター」という演劇の形をご存じだろうか。ブラジルの演出家アウグスト・ボアールが発案した観客参加型の演劇だ。

最初にベースとなる短い劇を上演する。その劇には、なんらかの「問題」があつて、人間関係やコミュニケーションが上手くいっていない様子が描かれている。その後、同じ劇をもう一度上演するのだが、その際、観客が「ここをこうすれば状況が良くなる」「この人がここでこう言えばよいのでは」など、問題解決法を思いついたら手を挙



フォーラムシアター『クロダ家の場合』

げて劇を止め、意見を言う。その意見を聞いた役者が即興で演じる。当然劇の流れはどんどん変わっていく。時には観客が役者と交代し実際に問題解決を試みる場合もある。

もともと、ブラジルにおいて抑圧、差別された人民が社会的状況を変えていく力を持つことを目指して行われたもので、ボアールは彼の著書『被抑圧者の演劇』の中で「変革へのリハサル」と呼んでいる。1965年から71年にかけてサンパウロの劇場で芸術監督を務めていたボアールだが、ブラジル政府からの弾圧を受けてヨーロッパへ亡命した。その後も、フォーラムシアターの形をより心理的深部に迫れるようにした「欲望の虹」「頭の中の警官」などの手法を発案し、演劇や教育などに様々な影響を与えた。

この、フォーラムシアターは、日本ではまだまだ知る人の少ない手法だが、意欲的に展開している団体も存在する。積極的に手をあげて自分の意見を言えない日本人向けに、ただ「やめて!」と声をかければよいものや、ベースとなる劇をワークショップ形式で観客と共に作成するなど様々にアレンジされている。

北九州では、「NPO法人子どもとメディア」が電子メ

ディアとコミュニケーションを考えるためのプログラム『メディアとのより良い付き合い方』シアタープロジェクト』にこのフォーラムシアターの手法を取り入れている。また、「NPO法人KID's work」は「子ども・若者支援センターYELL」との共同事業の中でこのフォーラムシアターに継続的に取り組んでいる。

これらの事業で実際にフォーラムシアターを制作、上演しているのは「Dramatic Delivery Network」という、北九州とその近郊に住むアーティストのネットワークだ。「飛ぶ劇場」の寺田剛、木村健二、「劇団黄色い自転車」の井上沙紀、「劇団C4」の大福悟、「演劇関係いす校舎」の守田慎之介、「インプロ集団MOSAÏQUES」の吉柳佳代子など、出演者も多彩かつ豪華。ニーズがあれば、どのような上演形態にも対応できるということなので、興味がある方は是非ネットワークにアクセスしていただきたい。

フォーラムシアターを制作、上演するのは決して簡単ではない。まず力のある役者が必要だ。なぜならば、観客からどんな意見がでるかわからないので、常に完全即興であるということ、そしてその即興によって起こるシーンの変化に、ウッ

があつてはならないからだ。また、ベースの劇にいかに関係を上手く織り込んでいけるか、観客の問題解決意識をいかに刺激するかで、劇作家、演出家の力も試される。フォーラムシアターができる演劇人がこれだけ居るといふ事は、北九州が「演劇の街」であると言う証拠の一つかもしれない。



フォーラムシアター
『着ぐるみアテンド編』

Information

【会場】北九州市立美術館 本館

【会期】

1月25日(土)～4月13日(日)

【開館時間】

午前9時30分～午後5時30分(入館は午後5時まで)

【観覧料】

一般150円(120円)、高大生100円(80円)、

小中生50円(40円) ()内は20名以上の団体料金。

※なお年長者施設利用証(北九州市交付のもの)、障害者手帳、たんけんパスポートを提示の方は無料。

コレクション展Ⅳ

特集 加納光於と中西夏之

学芸員 清田 幸枝 Yukie Kiyota

Cul 特集 Cul 10 北九州市立美術館 本館

北九州市立美術館本館では、加納光於と中西夏之を特集したコレクション展Ⅳを開催します。1950年代後半から活動を開始し評価を高めてきた加納光於(1933～)と中西夏之(1935～)。今回のコレクション展では、半世紀を経た現在も活発な制作と発表を続ける2人の芸術家に焦点をあて、独創的な思考のもとに表現された作品群をご紹介します。

加納光於は東京に生まれました。19歳の時、偶然手にした今純三著『版画の新技法』を読み、版画の世界に興味を持ち始めます。53年より自ら設計した図面を元に九州の農機具製作所へプレス機の発注をするなど、積極的に独学で銅版画制作へ取り組みました。この頃、詩人でもあり美術評論家の瀧口修造(1903～79)と運命的な出会いを果たします。加納は瀧口の推薦によりタケミヤ画廊(東京)で初となる個展を開催。59年には『燐と花と』でリュブリアナ近代美術館賞を受賞するなど国内外で高い評価を受けます。64年には亜鉛板を用いた『ソルダードブルー』シリーズ、80年代に入ってから自身で絵具を作り描いた連作『逃げ水―その行方を遮って』など、常に新たな技法と表現を追い求めてきました。

中西夏之は東京藝術大学を卒業後、既成の表現を越えた、革新的な絵画のあり方を模索し始めます。59年にペイントに砂を混ぜた作品群『韻』を発表し注目を集め、63年の読売アンデパンダン展には、画面に無数のアルミ製洗濯バサミを取り付けた『洗濯バサミは攪拌行動を主張する』を出品しました。中西の活動は絵画制作だけにとどまらず、同年には高松次郎、赤瀬川原平と共に「ハイレッド・センタール」を結成。さらに、舞踏家の土方巽と共同した舞台に参画し、舞台美術を手がけます。そ



加納光於
《逃げ水―その行方を遮ってⅦ》
1981年



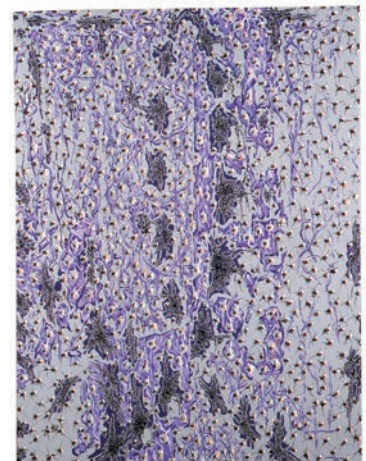
加納光於
《SOLDERED BLUE》
1965年

の後も多くの油彩シリーズを発表し、独自の世界観と様々な手法によって「絵画」という概念を探る作業を繰り返してきました。当館では、83年に「加納光於ペインティング'80-83」を、85年には「中西夏之展」を開催しています。これらの展覧会は、二人の現代作家の新展開をいち早く紹介した、当時の公立美術館としてはきわめて野心的な試みでした。

本展では、加納光於と中西夏之が当時発表した油彩画作品と



中西夏之
《不合流 II-a》
1982年



中西夏之
《作品-たとえば波打ち際に XIV》
1985年

ともに、加納の50年代初期の銅版画や『ソルダードブルー』シリーズをはじめとした多色版画などの作品を展示し、2人の活動の軌跡をたどります。

Event

●学芸員によるスライドトーク

(本展特集についての解説) ※聴講無料

【日時】3月21日(金・祝)

午後2時より(午後1時 開場)

【会場】

北九州市立美術館 本館 講堂

【定員】当日先着80名(事前申し込み不要)

●美術ボランティアによるコレクション

展示作品の解説

毎日午後2時～午後3時(木曜日を除く)

※観覧料が必要です。

かるかる Culcul

Culture&Cultivate

2014
February

2
Vol.10

眠りから覚めた美。

特集

北九州市立美術館 本館

演劇 | 演劇の街は、いま

文芸 | 清張アラカルト

美術 | 北九州アートめぐり

漫画 | 漫画と北九州

Topic | 北九州芸術劇場

音楽 | いろはにぴあの